第三百九十一回　青葉会

平成三十年十一月二十二日（木）午后一時半～四時半　文京区民センター

〈選者〉
◎川口孤舟

〈出席者〉
今井紀久男　大林猛　柿崎忠彦　川口孤舟　小西弘子　在間千恵　中野一灯
山内天牛
伊賀山そらお　久米五郎太　小早健介　朱牟田恵洲　土谷堂哉　豊田ゆたか
古田昇　宮内規雄　山崎亜也　山田けい子　渡邊盛雄
赤田堅　安部眞希子　楠田彦十　庄司龍平　高橋敏郎　早川允章　福島正明
村田くに子　山本三恵

〈投句〉

〈紙上選句〉

《互選句》

七点

白秋生家

◎白秋のからたちは実に蔵寂（そ）ぶる　一灯（堅・眞・孤・彦・弘・允・く）
初物に手を合はす癖あんこう鍋　忠彦（眞・彦・弘・灯・天）
冬ぬくし袋小路に眠る猫　けい子（眞・紀・允・正・く）

五点

四点

◎五右衛門の居さうな山門深紅葉（国分寺）　弘子（紀・孤・正・天）
◎雲奔る北信五岳冬構　一灯（忠・孤・敏・允）

（黒姫山からの眺め）（ニコルズの「アファンの森」あり）

ダウンジャケット脱げばTシャツ若き哉　恵洲（千・龍・敏・天）
秋の暮あの日独りとなりしかな　規雄（堅・忠・龍・三）
駅前にハイカー集ふ小春かな　そらお（紀・允・く）

三点

なぜならむ夢見の多き神の旅　猛（堅・忠・三）
冬桜エンドロールに消えゆく名　孤舟（紀・彦・三）
イヤホンの縺（もつ）れ解けぬ冬日かな　五郎太（龍・正・天）
席譲る少年すずやか小春空　健介（堅・龍・敏）
敬老日骨休め中とや整骨院　千恵（猛・灯・天）
◎やけ気味の手締めや雨の酉の市　恵洲（眞・孤・允）
◎全山の紅葉夕映え瀬戸の島　ゆたか（堅・猛・孤）
語学力怪しくなりぬ木の葉髪　昇（紀・く・天）
痛む脚忘る小春や万歩計　盛雄（紀・弘・千）

二点

小川恭延さん偲ぶ会（松翁）

新酒もて畏友を偲ぶ老頭児（ロートル）どち　紀久男（忠・敏）
死期迫る枯蟷螂は日溜りに　仝（敏・く）
芝居はね馴染みの店へおでん酒　仝（允・正）
パンに似た雲眺めてる食の秋　忠彦（紀・猛）
湯豆腐や二人で祝ふサファイア婚　仝（眞・紀）
着膨れのラッシュ久しき血が滾（たぎ）り　仝（猛・灯）
かさと踏みこそと歩みし枯葉径　孤舟（猛・千）
亥の子餅太き炭組む頃となり　五郎太（紀・彦）
夕しぐれ明朗会計地下酒場　健介（彦・く）
◎手に取れば思はぬ重さ吊し柿　堂哉（孤・彦）
紅葉の京路地の小店に七味買ふ　ゆたか（龍・天）
◎河原湯に山の音聞く霧月夜　一灯（孤・弘）
◎西郷どんのイケメン振りや菊人形　昇（孤・敏）
しぐるるや外れし予報また一興　亜也（堅・忠）
どこでも庭から無断で入れる
栗の里お庭御免の小布施町　天牛（眞・猛）

（３０年以上前、敏郎さんの案内で万里子先生らと見物。北斎美術館あり）

市田柿味噌と粕漬こりや珍味　天牛（紀・千）
銀杏落葉踏み込む靴を吸ひ込みぬ　猛（弘）
文化の日酔眼朦朧字も読めず　仝（紀）
酌み交し鰰（はたはた）五尾を丸齧り　紀久男（灯）
顔見世や大看板の声冴えず　仝（天）
虚偽偽造慣れた日本に文化の日　忠彦（千）
落葉掃く人も落葉の色となり　孤舟（弘）
鮒（いさざ）舟水面の光ごと掬ふ　仝（灯）
捌かるるどこ吹く風の海鼠かな　仝（三）

出光美術館にて

一人観る夜色樓臺（ろうたい）冬に入る　亜也（紀）
冬に入る体幹一本筋通す　弘子（紀）
引き算の平均余命菊膾（なます）　仝（三）
◎日溜りの参道行き来冬の蝶　仝（孤）
◎陽の色の干し柿ずしり甲斐の柿　仝（孤）
パリ沸かす動植綵絵若冲忌　千恵（五）
曝涼の御物に快慶奈良詣で　仝（紀）
馬柵（ませ）に鳴る風のバラード今朝の冬　一灯（三）

追悼　佐々淳行（あっゆき）氏

鳥渡る安田講堂佐々逝く　仝（紀）
つきまとふ冬ざれの街迷ひ鳥　けい子（龍）
冬の月古稀の祝ひの峡（かい）の宿　仝（紀）
年の瀬のミラノ土産のパストーネ　天牛（正）
冬の旅第二の故郷紐育　仝（紀）
石蕗咲いていよいよ戌も去りゆくか　盛雄（忠）
京都来て碧い眼の子ら七五三　仝（千）

●次回青葉会

十二月五日（水）　忘年句会　鈴本演芸場　昼席見物
　午后六時～九時　句会（築地「紅蘭」）　出句・投句は三句迄
正月五日（土）初芝居総見　浅草公会堂　若手歌舞伎　第一部
　一等席　９，０００円　二等席　６，０００円
一月二十四日（木）　初句会　午后一時半～四時半　文京区民センター

以上文責　紀久男

平成三十年十一月　青葉会報

一、今回は天牛さんら８名出席。投句１１名。千恵さん寄贈の純吟、小生の純米酒と缶ビール、弘子さんからの「東京おかき」（本郷の森野製菓）等に舌鼓をうち乍ら開始。
猛さんの披講により順調に進み、一灯さん、忠彦さん、けい子さんが好成績でした。
万里子先生の近況（弘子さん訪問）、社友会湘南会の１７名が顔見世見物（相田君が世話役）、大滝の落語会に３８名の盛況（「萬緑」元幹部の渡辺啓二郎さんの処女句集披露。大阪の藤本君が高校時代に草田男、香西照雄の国語）を話題にしつつ、眞希子さんのＦＡＸ、長谷見敏さんの社友会ＨＰ掲載…俳句と紀行文、浅草若手歌舞伎のチラシ、孤舟さんの「丘の風」を回覧。